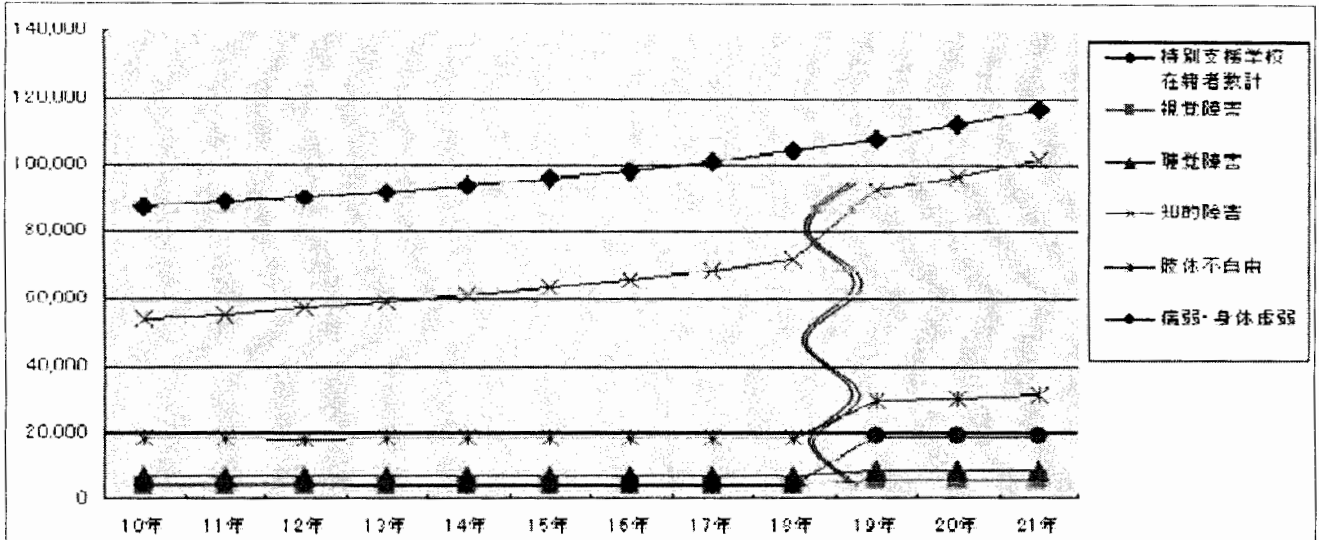


審議資料（本県の特別支援教育の現状）

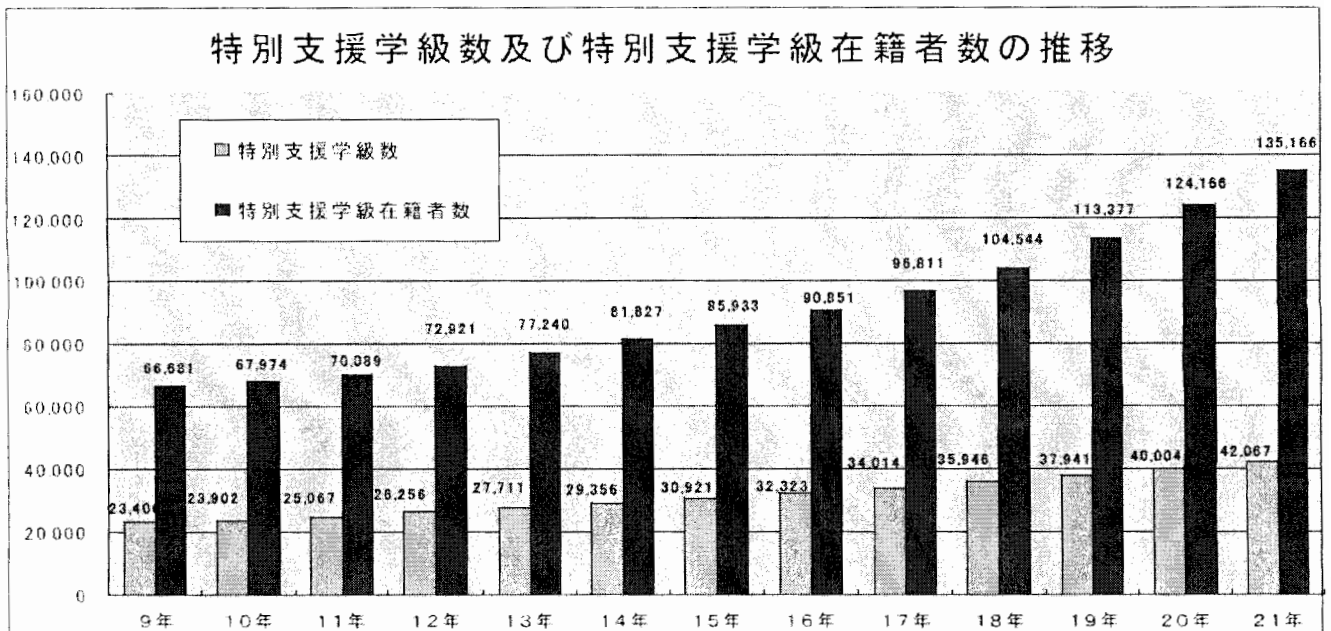
1 全国及び本県の概況	
(1) 全国の特別支援学校、特別支援学校、特別支援学級の状況	… 1
(2) 全国及び山梨県における特別支援教育対象者数の推移	… 2
(3) 山梨県における在籍者数の推移	… 3
(4) 平成22年度特別支援学級等の設置状況及び在籍児童生徒数	… 4
(5) 平成22年度特別支援学校の幼児児童生徒数の現況	… 5
(6) 特別支援学校通学区域	… 6～ 7
2 本県の知的障害者増加の状況	
(1) 知的障害を対象とする特別支援学校児童生徒数の推移	… 8
(2) 山梨県立特別支援学校在籍者数の推移（障害種別）	… 9
(3) 療育手帳、身体障害手帳交付台帳搭載数の変化	… 10
(4) 本県の療育手帳発行状況	… 11
3 知的障害特別支援学校高等部の状況	
(1) 知的障害特別支援学校児童生徒の障害程度の変化	… 12
(2) 平成20年度特別支援学校中学部 及び中学校特別支援学級卒業生の進路状況等	… 13
(3) 平成20年度特別支援学級卒業児童・生徒の進路結果	… 14
(4) 平成20年度特別支援学校高等部の進路状況	… 15
4 特別支援教育の推進状況	
(1) 幼稚園、小中学校、高等学校における特別支援教育の推進状況	… 16
(2) 特別支援教育体制整備状況調査結果	… 17～ 18
(3) 平成21年度山梨県公立幼稚園、小中学校、高等学校における 特別支援教育支援員の配置状況	… 19
(4) 教職員の専門性確保の状況	… 20
(5) 特別支援教育総合推進事業	… 21～ 22
(6) 山梨県における特別支援教育総合推進事業構造図	… 23

全国の特別支援学校・特別支援学級の状況

1 特別支援学校（幼稚部・小学部・中学部・高等部）在籍者推移



2 特別支援学級数及び特別支援学級在籍者数の推移



※ H22年3月24日

文部科学省「特別支援教育の推進に関する調査研究協力者会議」審議経過報告より抜粋

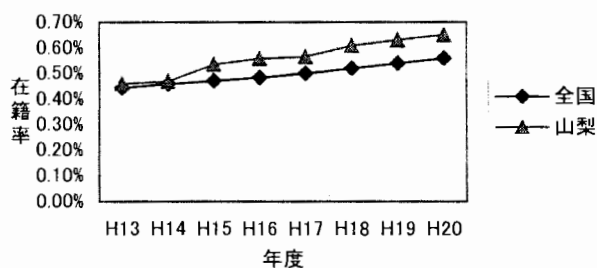
全国及び山梨県における特別支援教育対象者数の推移(H13～H20)

		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
全国	義務教育								
	全学齢児童生徒数	11,343,210	11,157,257	11,032,503	10,923,427	10,885,415	10,855,703	10,815,272	10,785,303
	特別支援学校在籍者	50,289	51,146	51,955	52,805	54,330	56,315	58,285	60,302
	〃 在籍率	0.44%	0.46%	0.47%	0.48%	0.50%	0.52%	0.54%	0.56%
	特別支援学級在籍者	77,240	81,827	85,933	90,851	96,811	104,544	113,377	124,166
	〃 在籍率	0.68%	0.73%	0.78%	0.83%	0.89%	0.96%	1.05%	1.15%
	通級による指導	29,565	31,767	33,652	35,757	38,738	41,448	45,236	49,685
	〃 在籍率	0.26%	0.28%	0.31%	0.33%	0.36%	0.38%	0.42%	0.46%
	就学猶予・免除	147	122	130	111	91	81	77	58
	〃 在籍率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
合計	157,094	164,740	171,540	179,413	189,879	202,307	216,898	234,153	
〃 在籍率	1.38%	1.48%	1.55%	1.64%	1.74%	1.86%	2.01%	2.17%	
他全	全幼小中高在籍者	17,198,247	16,897,815	16,646,759	16,441,734	16,276,949	16,126,217	15,982,464	15,885,834
	特別支援教育を受けている者	198,877	207,765	216,058	225,404	237,161	250,584	266,786	286,185
	〃 在籍率	1.16%	1.23%	1.30%	1.37%	1.46%	1.55%	1.67%	1.80%

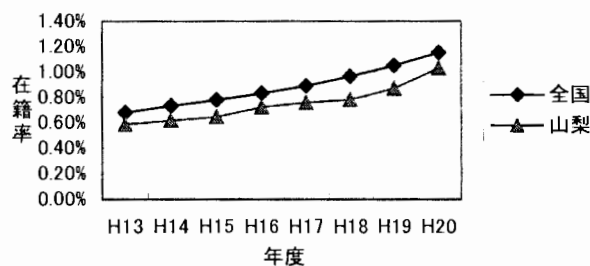
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
山梨	義務教育								
	全学齢児童生徒数	85,338	84,118	82,895	82,106	81,311	80,556	79,372	75,317
	特別支援学校在籍者	392	394	443	458	459	490	500	490
	〃 在籍率	0.46%	0.47%	0.53%	0.56%	0.56%	0.61%	0.63%	0.65%
	特別支援学級在籍者	501	521	536	595	618	630	689	775
	〃 在籍率	0.59%	0.62%	0.65%	0.72%	0.76%	0.78%	0.87%	1.03%
	通級による指導	406	445	453	445	520	524	546	610
	〃 在籍率	0.48%	0.53%	0.55%	0.54%	0.64%	0.65%	0.69%	0.81%
	就学猶予・免除	0	0	0	0	0	0	0	0
	〃 在籍率	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%	0.000%
合計	1,299	1,360	1,432	1,498	1,597	1,644	1,735	1,875	
〃 在籍率	1.52%	1.62%	1.73%	1.82%	1.96%	2.04%	2.19%	2.49%	
他全	全幼小中高在籍者	128,931	126,822	124,972	123,459	121,826	119,735	117,983	113,150
	特別支援教育を受けている者	1,592	1,661	1,853	1,821	1,956	2,006	2,102	2,243
	〃 在籍率	1.23%	1.31%	1.48%	1.47%	1.61%	1.68%	1.78%	1.98%

※ データについては、「文部科学省特別支援教育資料」、「山梨の特別支援教育・データ編」及び「教育便覧」による。

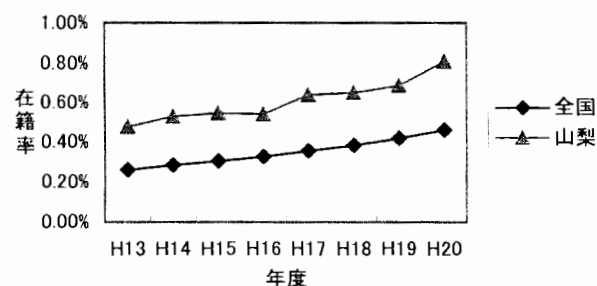
特別支援学校在籍率



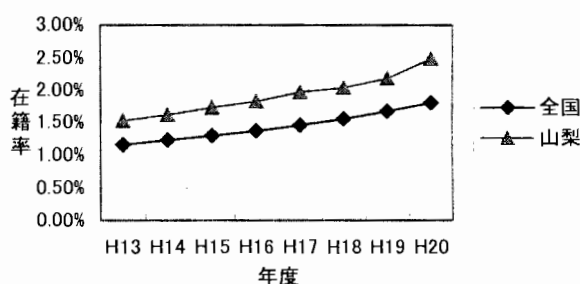
特別支援学級在籍率



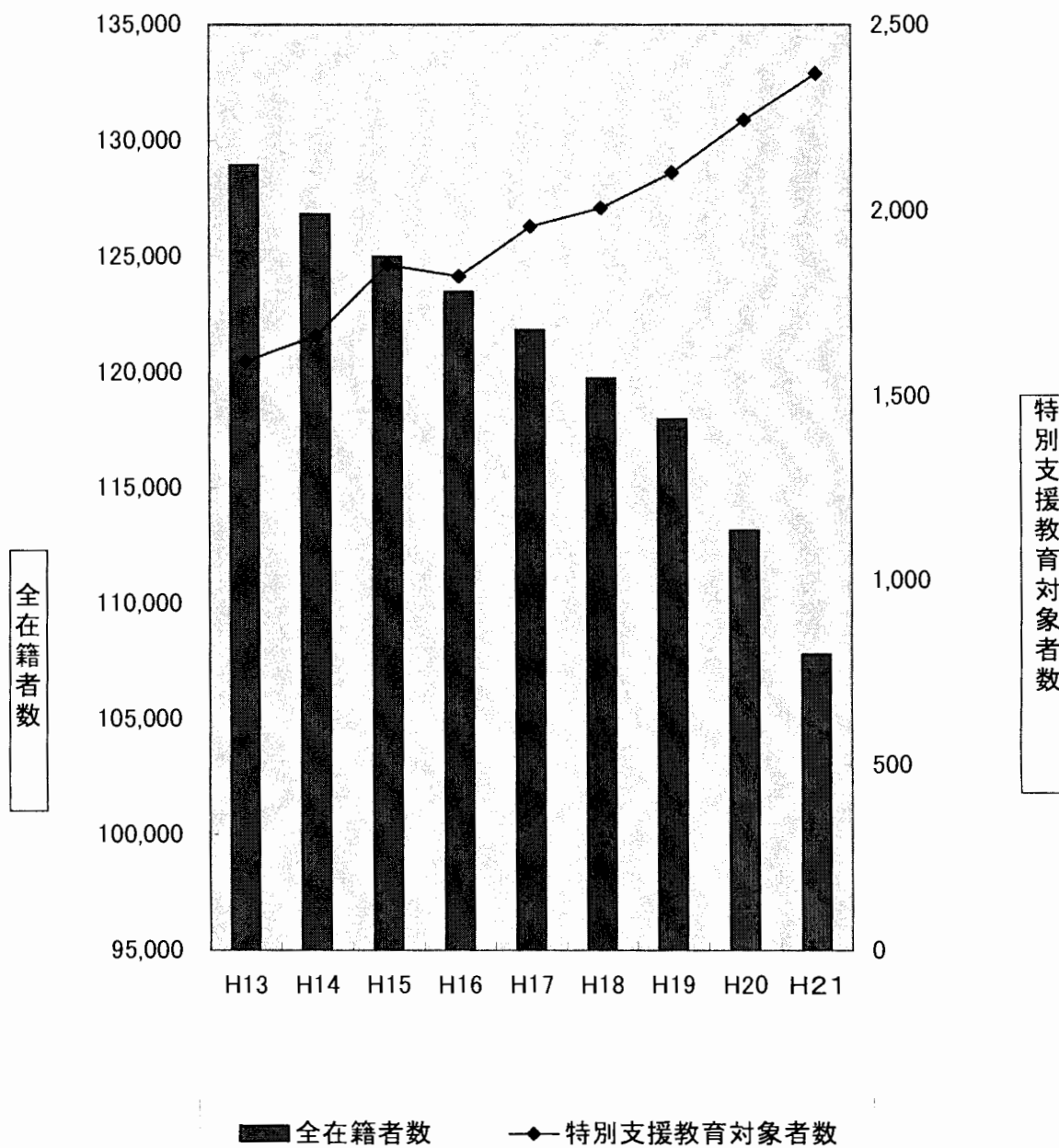
通級による指導在籍率



小中にて特別支援教育を受けている者



山梨県における在籍者数等の推移



	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21
全在籍者数	128,931	126,822	124,972	123,459	121,826	119,735	117,983	113,150	107,785
特別支援教育対象者数	1,592	1,661	1,853	1,821	1,956	2,006	2,102	2,243	2,369
在籍率	1.23%	1.31%	1.48%	1.47%	1.61%	1.68%	1.78%	1.98%	2.20%

* データについては、「文部科学省特別支援教育資料」、「山梨の特別支援教育・データ編」及び「教育便覧」による。

* 全在籍者数：幼小中高及び特別支援学校の在籍者数

* 特別支援教育対象者数：特別支援学校及び特別支援学級に在籍する幼児児童生徒並びに通級による児童生徒

平成22年度特別支援学級等設置状況及び在籍児童生徒数 (H22. 4. 1現在)

		学 級 数			学校数 (含分校)	(分校)	児童生徒数
		新設数	閉級数	増減			
知的障害	小学校	8	13	-5	150	148	447
	中学校	11	9	2	72	70 (1)	224
肢体不自由	小学校	8	1	7	25	25	28
	中学校	2	2	0	6	6	6
病弱・ 身体虚弱	小学校	0	2	-2	7	7 (3)	7
	中学校	2	0	2	4	4 (2)	2
弱視	小学校	0	1	-1	5	5	5
	中学校	1	1	0	3	3	3
難聴	小学校	2	2	0	8	8	8
	中学校	1	2	-1	1	1	1
自閉症・ 情緒障害	小学校	10	2	8	67	67	136
	中学校	3	0	3	24	24 (1)	48
合計	小学校	28	21	7	262	260 (3)	631
	中学校	20	14	6	110	108 (4)	284
	総数	48	35	13	372	368 (7)	915
通級指導教室 (言語障害)	小学校	0	0	0	8	/	485
通級指導教室 (発達障害・ 情緒障害)	小学校	1	0	1	8		106
	中学校	0	0	0	1		3
合計	総数	1	0	1	17		594
学校実数	小学校	/	/	10	/	171 (3)	/
	中学校			2		75 (4)	
	総数			12		246 (7)	

※通級指導教室の児童生徒数については、平成22年5月1日現在（幼児を含む。）

※通級指導教室（言語障害）8教室のうち4教室には、発達障害・情緒障害担当教員を配置し指導を行っているため、発達障害・情緒障害の幼児児童数が含まれている。

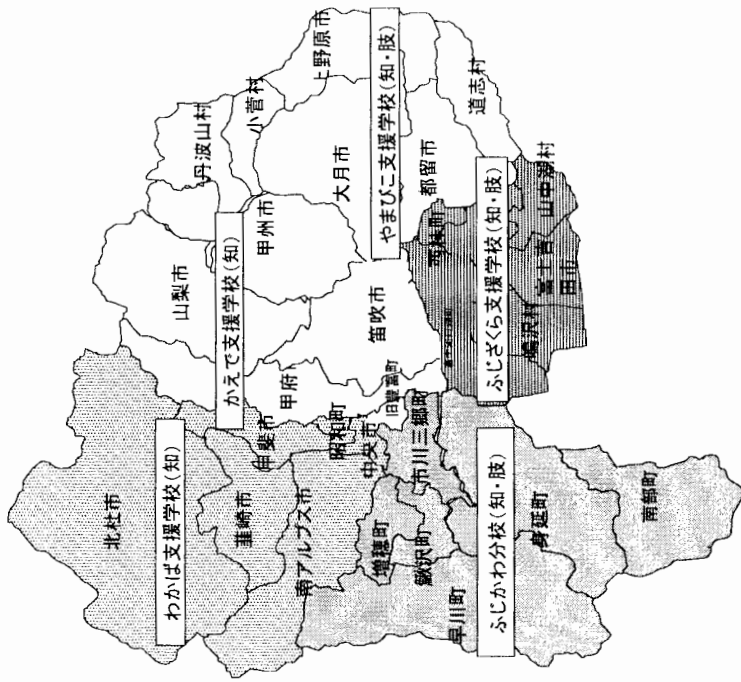
平成22年度 特別支援学校の幼児児童生徒数の現況

学校区分	学校名	学部名	学級数 (学級)	児童生徒等数 (人)	教員数 (人)		
視覚障害	盲学校	幼稚部	5	10	45		
		小学部	3	6			
		中学部	2	3			
		高等部	本科	普通科		5	8
				保理科		1	1
			専攻科	保理科		3	5
				理療科		2	5
計		21	38				
聴覚障害	ろう学校	幼稚部	4	5	45		
		小学部	6	14			
		中学部	3	8			
		高等部	5	14			
		計		18		41	
知的障害	わかば支援学校	小学部	8	39	94		
		中学部	11	51			
		高等部	19	118			
		計		38		208	
	かえで支援学校	小学部	14	58	102		
		中学部	14	67			
		高等部	18	111			
		計		46		236	
知的障害・ 肢体不自由	わかば支援学校 ふじかわ分校	小学部	5	11	16		
		中学部	4	8			
		計		9		19	
	やまびこ支援学校	小学部	10	24	59		
		中学部	7	24			
		高等部	9	41			
		計		26		89	
	ふじざくら支援学校	小学部	16	52	79		
		中学部	9	29			
		高等部	9	39			
		計		34		120	
	肢体不自由	甲府支援学校	小学部	15	37	74	
中学部			6	16			
高等部			5	18			
計				26	71		
あけぼの支援学校		小学部	11	30	63		
		中学部	8	20			
		高等部	6	12			
		計		25		62	
病弱	富士見支援学校	小学部	1	2	14		
		中学部	2	5			
		計		3		7	
	富士見支援学校 旭分校	小学部	0	0	12		
		中学部	2	7			
		計		2		7	
県立特別支援学校 合計			248	898	603		
知的障害	山梨大学 教育人間科学部 附属特別支援学校	小学部	3	17	29		
		中学部	3	13			
		高等部	3	27			
		計		9		57	
国立・県立特別支援学校 合計			257	955	632		

平成22年5月1日現在

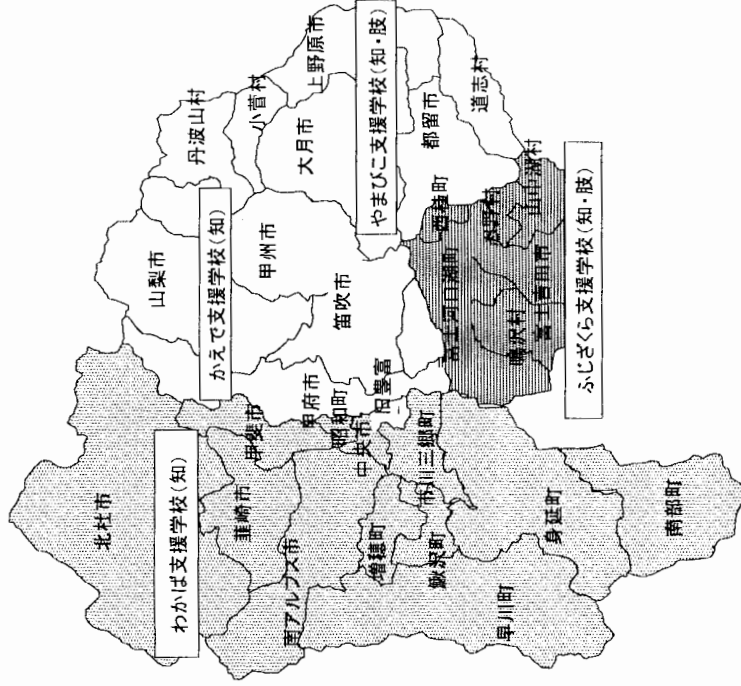
※ 教員数は校長、教頭、教諭、養護教諭、養護助教諭、実習助手、学校看護師、初任者研修加配の総数であり、寄宿舎指導員は除いた数とした。

通学区域(知的障害小・中学部)



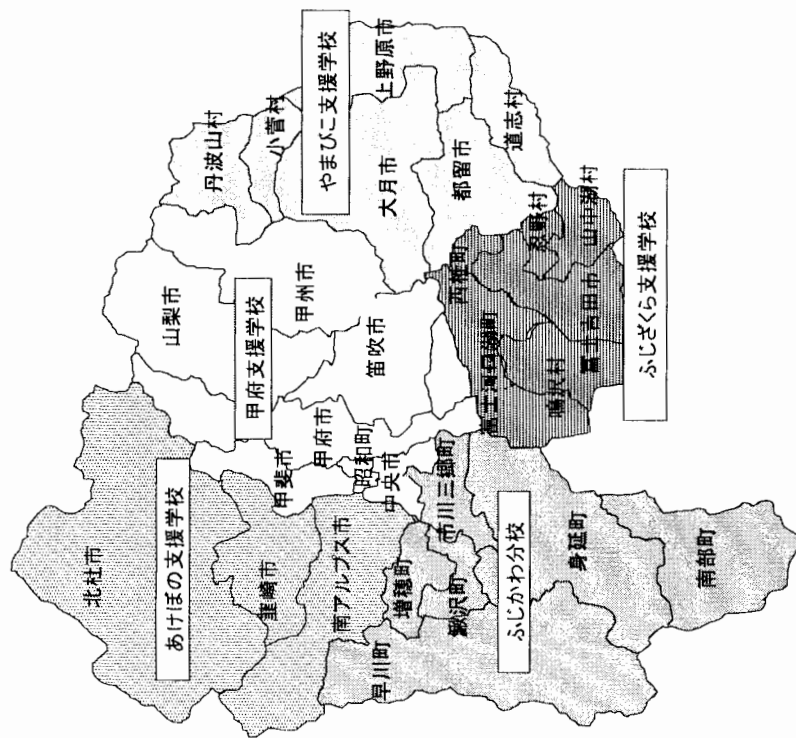
わかば支援学校	知的	中巨摩郡、韭崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市及び中央市（旧豊富村の区域を除く。）
ふじかわ分校	知・肢	西八代郡及び南巨摩郡
やまびこ支援学校	知・肢	南都留郡のうち道志村、北都留郡、都留市、大月市及び上野原市
ふじざくら支援学校	知・肢	南都留郡（道志村を除く。）及び富士吉田市
かえで支援学校	知的	甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市及び中央市（旧豊富村の区域に限る。）

通学区域(知的障害高等部)



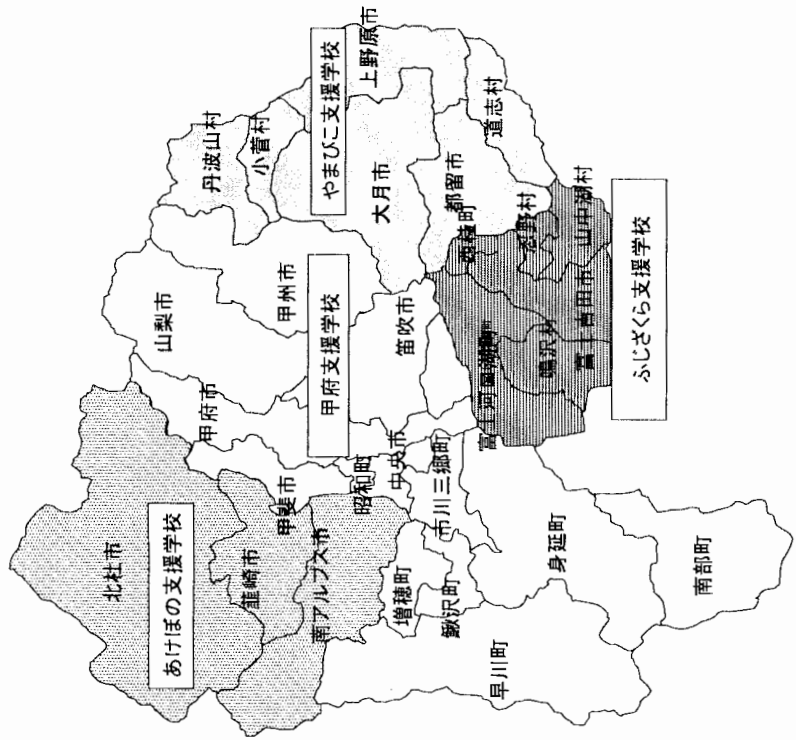
わかば支援学校	知的	西八代郡、南巨摩郡、中巨摩郡、韭崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市及び中央市（旧豊富村の区域を除く。）
やまびこ支援学校	知・肢	南都留郡のうち道志村、北都留郡、都留市、大月市及び上野原市
ふじざくら支援学校	知・肢	南都留郡（道志村を除く。）及び富士吉田市
かえで支援学校	知的	甲府市、山梨市、笛吹市、甲州市及び中央市（旧豊富村の区域に限る。）

通学区域(肢体不自由小・中学部)



学校名	種別	学 区
甲府支援学校	肢体	中巨摩郡、甲府市、山梨市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市
あけぼの支援学校	肢体	センター加療中の者、韮崎市、南アルプス市、北杜市
ふじかわ分校(小・中)	知・肢	西八代郡、南巨摩郡
やまびこ支援学校	知・肢	南都留郡(道志村)、北都留郡、都留市、大月市、上野原市
ふじざくら支援学校	知・肢	南都留郡(道志村を除く。)、富士吉田市

通学区域(肢体不自由高等部)



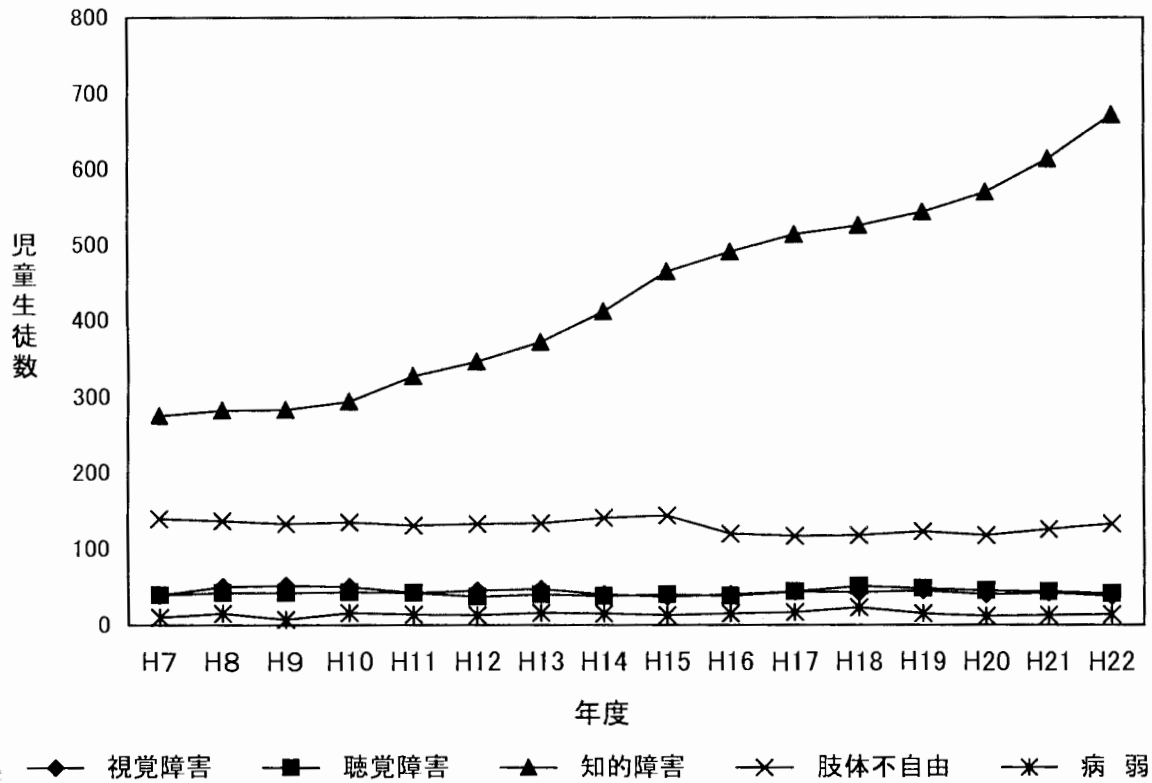
学校名	種別	学 区
甲府支援学校	肢体	西八代郡、南巨摩郡、中巨摩郡、甲府市、山梨市、甲斐市、笛吹市、甲州市、中央市
あけぼの支援学校	肢体	センター加療中の者、韮崎市、南アルプス市、北杜市
やまびこ支援学校	知・肢	南都留郡(道志村)、北都留郡、都留市、大月市、上野原市
ふじざくら支援学校	知・肢	南都留郡(道志村を除く。)、富士吉田市

知的障害を対象とする特別支援学校児童生徒数の推移

学校名	学部		H13	H22	増加率	
わかば支援学校	小学部	単一	43	37	0.86	
		重複	8	2	0.25	
	中学部	単一	20	49	2.45	
		重複	8	2	0.25	
	高等部	単一	52	110	2.12	
		重複	13	8	0.62	
	在籍総数	単一	115	196	1.70	
		重複	29	12	0.41	
		合計	144	208	1.44	
		総学級数		34	40	1.18
わかば支援学校 ふじかわ分校	小学部	単一	3	10	3.33	
		重複	3	1	0.33	
	中学部	単一	4	7	1.75	
		重複	2	1	0.50	
	在籍総数	単一	7	17	2.43	
		重複	5	2	0.40	
		合計	12	19	1.58	
		総学級数		6	7	1.17
	やまびこ支援学校	小学部	単一	13	15	1.15
			重複	3	7	2.33
訪問			1	2	2.00	
中学部		単一	6	20	3.33	
		重複	4	3	0.75	
		訪問		1		
高等部		単一	21	33	1.57	
		重複	2	7	3.50	
		訪問	3	1	0.33	
在籍総数		単一	40	68	1.70	
		重複	9	17	1.89	
		訪問	4	4	1.00	
		合計	53	89	1.68	
		総学級数		18	23	1.28
ふじざくら支援学校	小学部	肢単一	2	2	1.00	
		知単一	16	30	1.88	
		重複	10	20	2.00	
		訪問				
	中学部	肢単一		1		
		知単一	15	21	1.40	
		重複	7	7	1.00	
		訪問	1	1	1.00	
	高等部	肢単一	1	1	1.00	
		知単一	15	30	2.00	
		重複	8	8	1.00	
		訪問	3	4	1.33	
	在籍総数	肢単一	46	81	1.76	
		重複	25	35	1.40	
訪問						
	合計	74	120	1.62		
	総学級数		25	34	1.36	
かえで支援学校	小学部	単一	25	51	2.04	
		重複	7	7	1.00	
	中学部	単一	15	59	3.93	
		重複	2	8	4.00	
	高等部	単一	33	101	3.06	
		重複	7	10	1.43	
	在籍総数	単一	73	211	2.89	
		重複	16	25	1.56	
		合計	89	236	2.65	
		総学級数		22	42	1.91
全体	小学部	肢単一	2	2	1.00	
		知単一	100	143	1.43	
		重複	31	37	1.19	
		訪問	1	2	2.00	
		合計	134	184	1.37	
	中学部	肢単一		1		
		知単一	60	156	2.60	
		重複	23	21	0.91	
		訪問		1		
		合計	83	179	2.16	
	高等部	肢単一	1	1	1.00	
		知単一	121	274	2.26	
		重複	30	33	1.10	
		訪問	3	1	0.33	
		合計	155	309	1.99	
	在籍総数	肢単一	3	4	1.33	
		知単一	281	573	2.04	
		重複	84	91	1.08	
訪問		4	4	1.00		
	合計	372	672	1.81		
	総学級数		105	146	1.39	

各年度5月1日現在

山梨県立特別支援学校在籍者数の推移（障害種別）



（単位：人）

障害種別 \ 年度	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H22/H13
視覚障害	39	50	52	50	42	45	47	40	37	40	44	43	45	40	42	38	80.9%
聴覚障害	39	42	42	43	42	37	40	38	40	38	44	51	48	45	44	41	102.5%
知的障害	275	282	283	294	327	346	372	412	465	491	514	526	544	570	614	672	180.6%
肢体不自由	140	137	133	135	131	133	134	141	144	120	117	118	123	118	126	133	99.3%
病弱	10	15	7	16	14	13	16	15	13	15	17	23	15	12	13	14	87.5%
合計	503	526	517	538	556	574	609	646	699	704	736	761	775	785	839	898	147.5%

各年度5月1日現在

視覚障害は盲学校在籍者

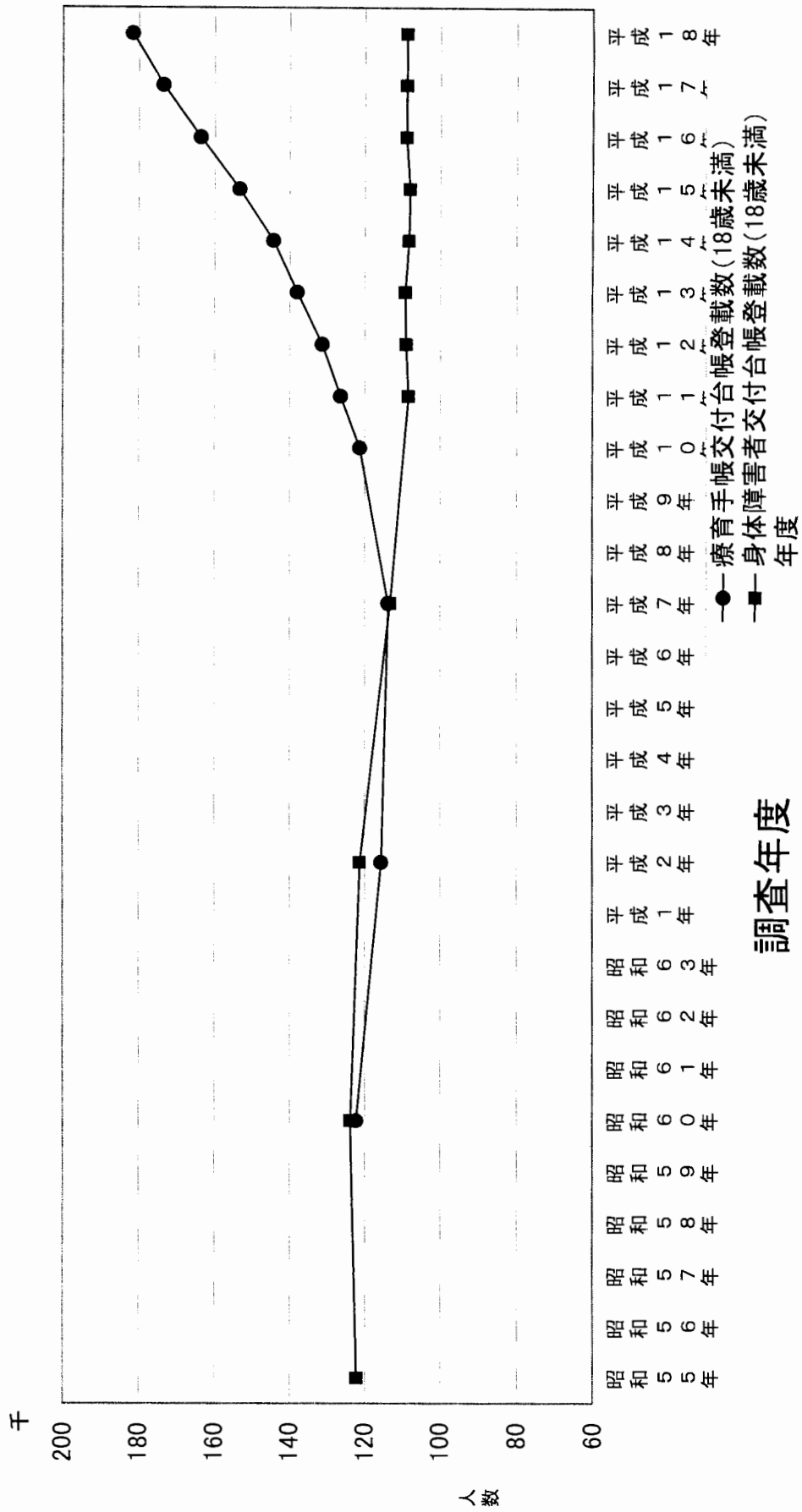
聴覚障害はろう学校在籍者

知的障害はわかば支援学校、" ふじかわ分校、やまびこ支援学校、ふじざくら支援学校
かえで支援学校在籍者

肢体不自由は甲府支援学校、あけぼの支援学校在籍者

病弱は富士見支援学校、" 旭分校在籍者

療育手帳・身体障害者手帳交付台帳登録数の変化

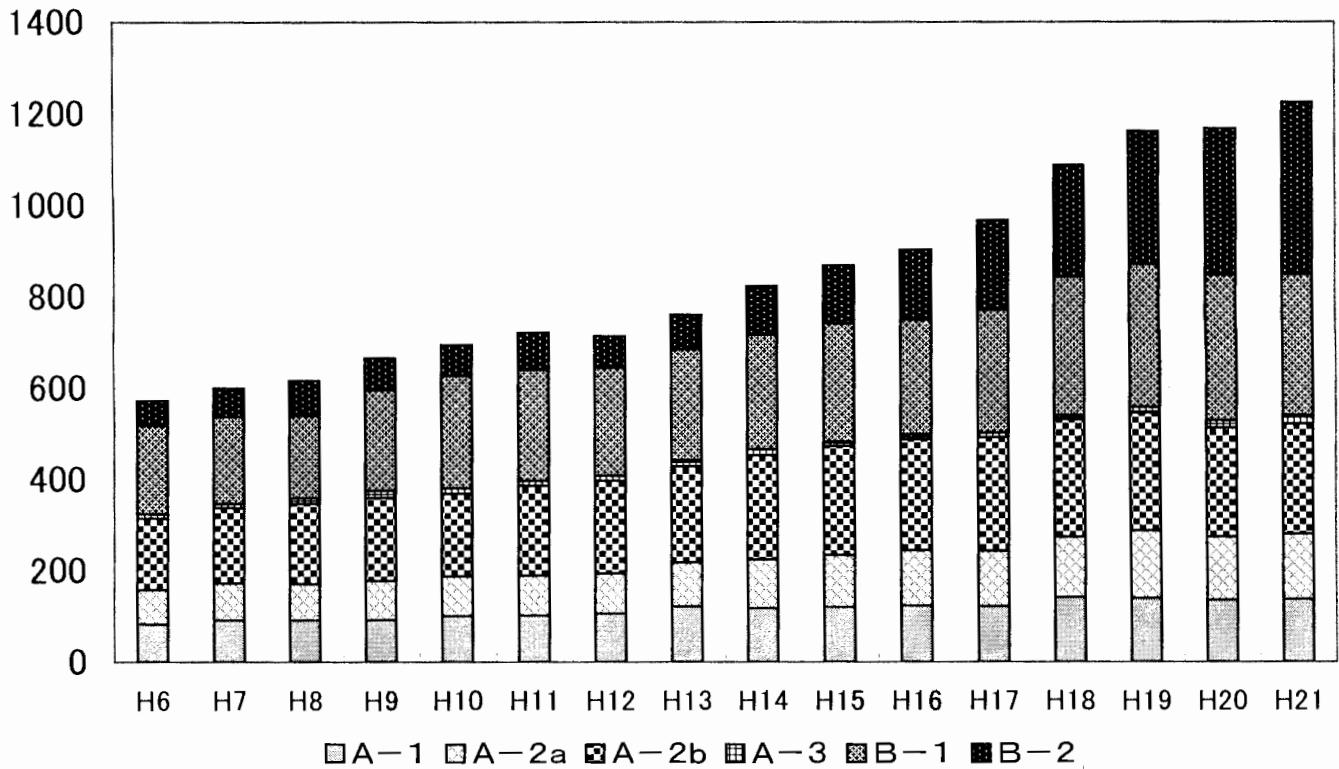


本県の療育手帳発行状況(0~17歳)

該当年度4月1日現在取得状況

	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	増加率 (H21/H13)
A-1	82	91	90	91	99	101	105	120	116	119	122	120	140	138	134	136	1.13
A-2a	75	81	80	86	88	87	87	97	107	113	121	121	132	147	138	142	1.46
A-2b	157	165	176	182	181	197	204	211	229	240	244	250	258	260	240	242	1.14
A-3	10	9	13	15	12	11	11	13	13	9	11	10	10	12	16	19	1.46
B-1	194	191	181	222	247	244	238	244	252	260	252	270	303	313	319	309	1.26
B-2	55	63	76	70	68	82	69	76	106	127	152	196	245	292	321	377	4.96
合計	573	600	616	666	695	722	714	761	823	868	902	967	1,088	1,162	1,168	1,225	1.60

0~17
(年齢)



知的障害特別支援学校児童生徒の障害程度の変化

療育手帳取得状況

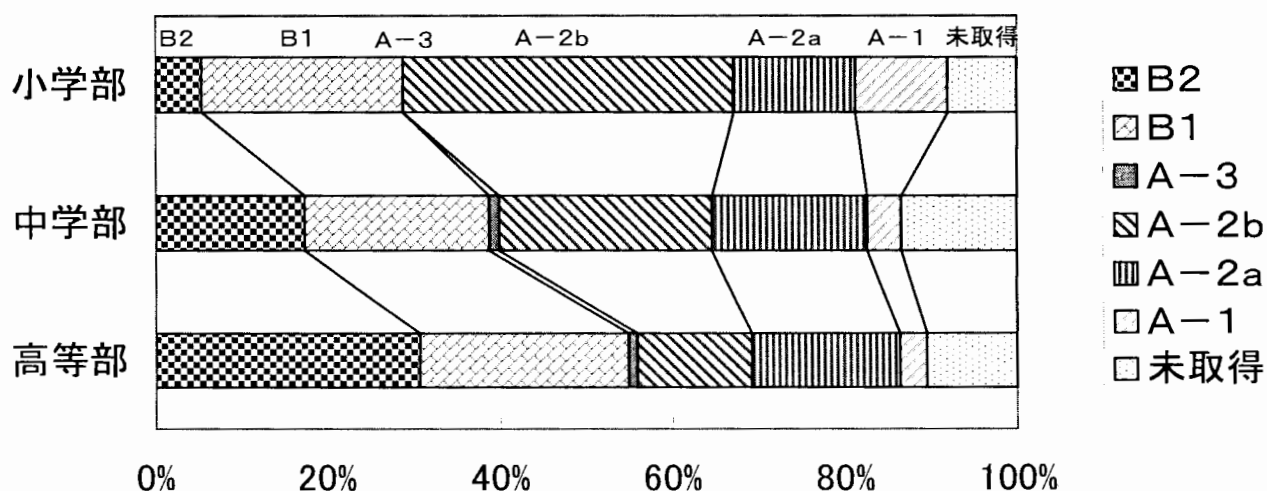
学部学年 等級	小学部							中学部				高等部				合計	割合
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計		
A-1	5	2	3	1	3	2	16	2	3	2	7	3	3	3	9	32	5.2%
A-2a	1	2	2	4	8	4	21	10	11	11	32	19	17	13	49	102	16.6%
A-2b	8	11	7	12	8	11	57	14	16	15	45	9	17	12	38	140	22.8%
A-3	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2	1	0	3	5	0.8%
B1	10	9	7	8	0	1	35	13	16	9	38	28	23	18	69	142	23.1%
B2	1	2	4	1	0	0	8	12	9	10	31	30	28	30	88	127	20.7%
未取得	1	2	4	0	5	0	12	11	11	2	24	18	9	3	30	66	10.8%
合計	26	28	27	26	24	18	149	63	67	49	179	109	98	79	286	614	100.0%

平成21年5月1日現在

療育手帳等級説明

- A-1 最重度または重度の知的障害を有し、身体障害者手帳1級または2級の障害を有する重複障害者
- A-2a 最重度の知的障害を有する者
- A-2b 重度の知的障害を有する者
- A-3 中等度の知的障害を有し、身体障害者手帳1級から3級に該当する障害を有する重複障害者
- B1 中等度の知的障害を有する者
- B2 軽度の知的障害を有する者

学部別 療育手帳等級の比率の変化



平成20年度 特別支援学校中学部卒業生の進路状況

区分	卒業者	進学者			職業訓練機関等入学者				就職者	施設等入所者	施設等通所者	その他
		高校等	高等部	計	専修学校	各種学校	職業能力開発	計				
障害視覚	盲学校	0										
障害聴覚	ろう学校	4	1	3	4							
知的障害	わかば支援学校	22		22	22							
	かえで支援学校	19		19	19							
肢体的障害・不自由	ふじかわ分校	1		1	1							
	やまびこ支援学校	8		8	8							
	ふじざくら支援学校	7		7	7							
不自由	甲府支援学校	6		6	6							
	あけぼの支援学校	1		1	1							
計		68	1	67	68							

知的障害	山梨大学教育人間科学部 附属養護学校	6		6	6							
------	-----------------------	---	--	---	---	--	--	--	--	--	--	--

平成20年度 中学校特別支援学級卒業生の進路状況

区分	卒業者	進学者			職業訓練機関等入学者				就職者	施設等入所者	施設等通所者	その他
		高校等	高等部	計	専修学校	各種学校	職業能力開発	計				
中学校特別支援学級	84	24	57	81					2			1

知的障害特別支援学校 高等部入学者出身校

出身学校別		入学年度				
		H17	H18	H19	H20	H21
特別支援学校高等部入学者数		86	82	79	99	109
特別支援学校	中学部3年在籍者数	49	46	42	55	56
	高等部進学者数	49	46	42	55	56
	高等部進学率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
知的障害 特別支援学級	中学校3年在籍者数	52	51	53	48	65
	高等部進学者数	28	26	32	35	47
	高等部進学率	53.8%	51.0%	60.4%	72.9%	72.3%
自閉症・情緒障害 特別支援学級	中学校3年在籍者数	2	4	2	10	9
	高等部進学者数	2	3	0	2	3
	高等部進学率	100.0%	75.0%	0%	20.0%	33.3%

通常学級	高等部進学者数	7	5	4	6	3
------	---------	---	---	---	---	---

平成20年度特別支援学級卒業児童・生徒進路結果

(1) 小学校

平成21年5月調査

		中学校		特別支援学校 中学部											
		通常学級	特別支援学級	盲	ろう	甲府支援	あけぼの	わかば	ふじかわ	やまびこ	富士見	旭分校	ふじざくら	かえで	附属特別支援
男子	68	1	37					9	1	5			3	9	3
女子	24		18					2	1				1	1	1
合計	92	1	55					11	2	5			4	10	4
校種別合計		56		36											

(2) 中学校

		公立校		私立校		特別支援		定時制高 含通信制高		専修学校等	一般企業	家庭	その他	未定
		普通科	専門学科	普通科	専門学科	県立	国立	公立	私立					
男子	56		3	6	2	34	2	6	1		2			
女子	28		1	2		21	1	2	1					
合計	84	0	4	8	2	55	3	8	2	0	2	0	0	0

(進学先内訳)

県立高校	男	女
専門学科	3	1
定時制	4	1
通信制	2	1

(就職先内訳)

	男	女
一般企業	2	

<その他>

	男	女
家事手伝い		

	男	女
未定		

県立特別支援学校	男	女
盲学校		3
ろう学校	1	
甲府支援	4	
あけぼの支援		2
わかば支援	11	8
やまびこ支援	3	2
ふじざくら支援	2	1
かえで支援	13	5
合計	34	21

国立特別支援学校	男	女
山梨大学附属	2	1

私立高校	男	女
普通科	6	2
専門学科	2	
定時制		1
通信制	1	

平成20年度 高等部卒業生の進路状況

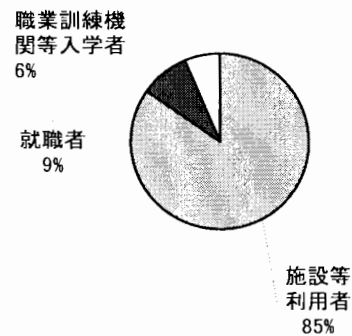
1 知的障害特別支援学校

	学校名	卒業生	進学者			職業訓練機関等入学者				就職者	施設等利用者	その他
			大学	専攻科	計	専修学校	各種学校	職業開発	計			
1	わかば支援学校	38						4	4	5	29	0
2	かえで支援学校	26								2	24	0
3	やまびこ支援学校	7						1	1		6	0
4	ふじざくら支援学校	7									7	0
計		78	0	0	0	0	0	5	5	7	66	0

2 主な進路先

就職先事業所業種	総合スーパー
	菓子製造業
	建設業
	衣服小売業
	洗濯業
	家具製造業
	管工業
	老人福祉施設 等
職業開発校	県立就業支援センター 障害者対象職業訓練 「総合実務科」(1年)

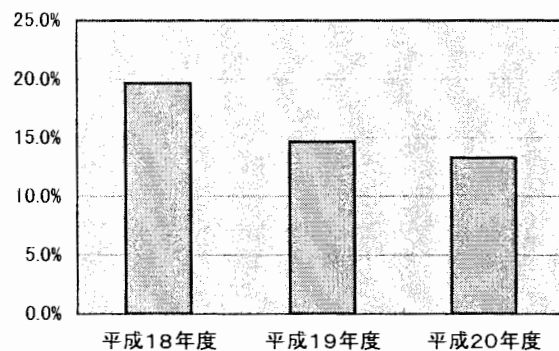
平成20年度知的障害特別支援学校
高等部卒業生の進路状況



3 全県立特別支援学校高等部卒業生 事業所等就業率(過去3年)

平成18年度	19.6%
平成19年度	14.6%
平成20年度	13.3%

就業率



※平成18・19年度は山梨大学教育人間科学部附属特別支援学校を含む

幼稚園、小・中学校、高等学校における特別支援教育の推進状況

1 本県における事業の展開

(1) 特別支援教育推進体制モデル事業

- 校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、専門機関との連携等の実践的な研究。
- 平成15年度 塩山市教育委員会管下小中学校 11校 (研究協力校：塩山南小学校)
- 平成16年度 甲府市教育委員会管下小中学校 36校 (研究協力校：大里小学校)

(2) 特別支援教育体制推進事業

- 校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの指名、専門機関との連携等の実践的な研究。
- 平成17年度 北都留・南都留地区小中学校 13地教委 85校
- 平成18年度 全県下小中学校 31地教委 309校
- 平成19年度 全県下幼・小中学校・高等学校 30地教委・私立 423校

(3) 発達障害早期総合支援モデル事業

- 「発達障害者支援法」に明記された発達障害者への早期発見・早期支援の取組を行うため、教育、医療、保健、福祉等の関係機関が連携し、早期からの総合的な支援の在り方について実践的な研究を行った。
- 平成19・20年度 峡東地域 (山梨市・笛吹市・甲州市) 3地教委
幼稚園6園、小・中学校 54校

(4) 発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業

- 平成20・21年度
全県下幼、小・中学校、高等学校 30地教委、国・私立 432校
グランドモデル地域として甲府市を指定

(5) 特別支援教育総合推進事業

- 平成22年度 全県下幼、小・中学校、高等学校 28地教委、国・私立 432校
グランドモデル地域として甲府市を指定

2 成果と課題

- ・ 公立小・中学校及び高等学校における校内委員会の設置、特別支援教育コーディネーターの配置については、数値の上では充実をしてくれているが、実質的に機能しているかについては、今後検証していく必要がある。
- ・ 就学前の幼児への支援については、発達障害早期総合支援モデル事業において、早期発見、早期支援の取組の中で、幼稚園等における意識の高まりがみられた。今後は、県下にモデル地域での取組を広げる必要がある。
- ・ 幼稚園、高等学校における具体的な支援の在り方等については、今後の課題である。

特別支援教育体制整備状況調査結果①（平成15～21年度）
（公立小・中学校）

(1) 校内委員会の設置

（基準日：各年度9月1日）

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	86	111	168	202	208	206	204	
	実施率	40.6%	52.4%	80.0%	96.2%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
中学校	学校数	26	34	65	88	98	96	95	
	実施率	26.3%	34.3%	65.7%	89.8%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
全体	学校数	112	145	233	290	306	302	299	
	実施率	36.0%	46.6%	75.4%	94.2%	100.0%	100.0%	100.0%	

(2) 学校内における実態把握の実施

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	71	105	137	181	187	196	200	
	実施率	33.5%	49.5%	65.2%	86.2%	89.9%	95.1%	98.0%	98.4%
中学校	学校数	25	30	43	67	74	88	77	
	実施率	25.3%	30.3%	43.4%	68.4%	75.5%	91.7%	81.1%	95.8%
全体	学校数	96	135	180	248	261	284	277	
	実施率	30.9%	43.4%	58.3%	80.5%	85.3%	94.0%	92.6%	

(3) 特別支援教育コーディネーターの指名

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	36	65	149	206	208	206	204	
	実施率	17.0%	30.7%	71.0%	98.1%	100.0%	100.0%	100.0%	99.9%
中学校	学校数	19	24	64	91	98	96	95	
	実施率	19.2%	24.2%	64.6%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	99.8%
全体	学校数	55	89	213	297	306	302	299	
	実施率	17.7%	28.6%	68.9%	96.4%	100.0%	100.0%	100.0%	

(4) 個別の指導計画の作成

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	27	55	49	64	119	157	163	
	実施率	12.7%	25.9%	23.3%	30.5%	57.2%	76.2%	79.9%	85.8%
中学校	学校数	11	20	14	16	39	70	70	
	実施率	11.1%	20.2%	14.1%	16.3%	39.8%	72.9%	73.7%	79.0%
全体	学校数	38	75	63	80	158	227	233	
	実施率	12.2%	24.1%	20.4%	26.0%	51.6%	75.2%	77.9%	

(5) 個別の教育支援計画の作成

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	0	0	25	32	96	153	160	
	実施率	0.0%	0.0%	11.9%	15.2%	46.2%	74.3%	78.4%	59.1%
中学校	学校数	0	0	8	13	35	68	70	
	実施率	0.0%	0.0%	8.1%	13.3%	35.7%	70.8%	73.7%	57.5%
全体	学校数	0	0	33	45	131	221	230	
	実施率	0.0%	0.0%	10.7%	14.6%	42.8%	73.2%	76.9%	

(6) 巡回相談の活用

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	5	15	37	81	122	157	153	
	実施率	2.4%	7.1%	17.6%	38.6%	58.7%	76.2%	75.0%	79.8%
中学校	学校数	1	0	4	14	28	45	56	
	実施率	1.0%	0.0%	4.0%	14.3%	28.6%	46.9%	58.9%	65.4%
全体	学校数	6	15	41	95	150	202	209	
	実施率	1.9%	4.8%	13.3%	30.8%	49.0%	66.9%	69.8%	

(7) LD等専門家チームの活用

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	学校数	4	15	37	39	56	26	53	
	実施率	1.9%	7.1%	17.6%	18.6%	26.9%	12.6%	25.9%	50.8%
中学校	学校数	1	0	4	4	9	2	16	
	実施率	1.0%	0.0%	4.0%	4.1%	9.2%	2.1%	16.8%	42.3%
全体	学校数	5	15	41	43	65	28	69	
	実施率	1.6%	4.8%	13.3%	14.0%	21.2%	9.3%	23.0%	

(8) 特別支援教育に関する教員研修の受講

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
小学校	受講済人数				2415	2427	2381	2414	
	受講率				77.1%	72.7%	72.1%	73.8%	68.8%
中学校	受講済人数				796	827	911	1023	
	受講率				40.8%	42.1%	46.7%	53.3%	55.7%
全体	受講済人数				3211	3254	3292	3437	
	受講率				60.6%	61.4%	62.7%	66.3%	

※ 全国平均は、H21年度の調査結果によるもの。

特別支援教育体制整備状況調査結果②(平成18～21年度)

<公立幼稚園> 5園

<県・公立高等学校> 34校

(1) 校内委員会の設置 (基準日: 9月1日)

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	2	2	1	2	
	実施率	40.0%	40.0%	20.0%	40.0%	78.0%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	3	14	33	34	
	実施率	8.8%	41.2%	97.1%	100.0%	95.7%

(2) 幼稚園内における実態把握の実施

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	3	3	3	4	
	実施率	60.0%	60.0%	60.0%	80.0%	95.0%

高等学校内における実態把握の実施

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	3	9	22	22	
	実施率	8.8%	26.5%	64.7%	64.7%	78.8%

(3) 特別支援教育コーディネーターの指名

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	2	2	2	3	
	実施率	40.0%	40.0%	40.0%	60.0%	82.7%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	1	33	34	34	
	実施率	2.9%	97.1%	100.0%	100.0%	93.0%

(4) 個別の指導計画の作成

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	2	0	1	1	
	実施率	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	50.9%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	0	1	1	5	
	実施率	0.0%	2.9%	2.9%	5.9%	16.3%

(5) 個別の教育支援計画の作成

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	2	0	2	1	
	実施率	40.0%	0.0%	40.0%	20.0%	34.6%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	1	1	2	3	
	実施率	2.9%	2.9%	5.9%	8.8%	12.9%

(6) 巡回相談の活用

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	0	1	3	3	
	実施率	0.0%	20.0%	60.0%	60.0%	76.9%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	1	10	9	12	
	実施率	2.9%	29.4%	26.5%	35.3%	38.8%

(7) LD等専門家チームの活用

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	園数	0	0	1	1	
	実施率	0.0%	0	20.0%	20.0%	55.2%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	学校数	3	0	0	2	
	実施率	8.8%	0.0%	0.0%	5.9%	25.7%

(8) 特別支援教育に関する教員研修の受講状況

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
公立幼稚園	受講済人数	16	21	26	22	
	受講率	55.2%	67.7%	79.0%	88.0%	74.6%

		18年度	19年度	20年度	21年度	全国平均
高等学校	受講済人数	340	417	444	657	
	受講率	19.7%	24.4%	25.9%	38.8%	42.1%

※ 全国平均は、H21年度の調査結果によるもの。

校内委員会の開催回数
(平成20年度)

		設置済	0回	1回	2回	3回	4回以上
幼稚園	%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
	園数	2	0	0	0	1	1
小学校	%	100.0%	2.4%	14.6%	20.9%	22.8%	39.3%
	校数	206	5	30	43	47	81
中学校	%	100.0%	7.3%	16.7%	25.0%	10.4%	40.6%
	校数	96	7	16	24	10	39
高等学校	%	97.1%	48.5%	24.2%	12.1%	3.0%	12.1%
	校数	33	17	8	4	1	4

(平成21年度)

		設置済	0回	1回	2回	3回	4回以上
幼稚園	%	40.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	園数	2	0	0	1	0	1
小学校	%	100.0%	5.9%	13.7%	20.6%	20.1%	39.7%
	校数	204	12	28	42	41	81
中学校	%	100.0%	7.3%	24.2%	25.3%	6.3%	38.9%
	校数	95	5	23	24	6	37
高等学校	%	100.0%	38.2%	26.5%	20.6%	8.8%	5.9%
	校数	34	13	9	7	3	2

平成21年度山梨県公立幼稚園、小学校・中学校、高等学校における特別支援教育支援員（介助員・学習支援員）の配置状況
平成21年5月1日現在

市町村名	幼稚園			小学校			中学校			高等学校			小計		特別支援教育支援員計	配置校数	学校数		
	介助員	学習支援員	配置校数	介助員	学習支援員	配置校数	介助員	学習支援員	配置校数	介助員	学習支援員	配置校数	介助員	学習支援員			小学校	中学校	合計
1 甲府市			15			15	2		2	0	0	0	17		17	17	26	10	36
2 南アルプス市					30	14		2	2				32		32	16	15	7	22
3 甲斐市					11	9		8	5				19		19	14	11	5	16
4 中央市					1	3	4						1	3	4	4	6	2	8
5 昭和町					6	3		1	1				7		7	4	3	1	4
6 甲府市中央市中組合							1		1				1		1	1			1
7 韮崎市					6	4							6		6	4	5	2	7
8 北杜市					1	11	9	2	3	0	0	0	1	13	14	12	15	9	24
9 山梨市	1				8	7		2	2				11		11	10	11	3	14
10 甲州市					4	7	15	4	4				4	11	15	19	13	5	18
11 笛吹市					30	14		5	5				35		35	19	14	6	20
12 市川三郷町					4	4							4		4	4	6	4	10
13 増穂町					3	2		1	1				4		4	3	3	1	4
14 鯉沢町					2	2							2		2	2	3	1	4
15 早川町																	2	1	3
16 身延町					9	9		6	5				15		15	14	9	5	14
17 南部町					4	4		1	1				5		5	5	4	3	7
18 富士吉田市					5	3		1	1				6		6	4	7	4	11
19 都留市																	8	3	11
20 道志村					1	1							1		1	1	1	1	2
21 西桂町																	1	1	2
22 忍野村																	1	1	2
23 山中湖村																	2	1	3
24 鳴沢村					4	1							4		4	1	1		1
25 富士河口湖町					7	4							7		7	4	9	4	13
26 河口湖南中組合								1	1				1		1	1			1
27 大月市					2	2				0	0	0	2		2	2	11	4	15
28 上野原市					3	2							3		3	2	10	4	14
29 小菅村																	1	1	2
30 丹波山村																	1	1	2
計	1	1	39	138	128	4	33	34	0	0	0	43	172	215	163	199	92	291	

*介助員とは、障害のある児童生徒の学校教育活動上の日常生活活動の介助をする者
 *学習支援員とは障害のある児童生徒の学習活動（教室の内外を問わない）をサポートする者
 *高等学校は市立校を対象としている。

教職員の専門性確保の状況

1 山梨県特別支援学校における特別支援学校教諭等免許状の保有状況

平成20年5月1日現在 文部科学省調査による

全体		免許状保有者		非免許保有者 ※2		
		当該障害種の免許保有者率 (当該障害種)	自立教科等の免許保有者率 (当該障害種)※1	他障害種の免許状保有者率	自立教科等の免許保有者率 (他障害種)	その他
	山梨県	75.8%	1.7%	6.9%	0.0%	15.6%
	全国	67.4%	1.3%	4.6%	0.0%	26.7%

障害種別

視覚障害	山梨県	21.1%	23.7%	36.8%	0.0%	18.4%
	全国	31.3%	21.9%	26.6%	0.1%	20.2%
聴覚障害	山梨県	51.3%	0.0%	30.8%	0.0%	17.9%
	全国	46.1%	0.4%	28.4%	0.1%	24.9%
知的障害	山梨県	81.0%	0.0%	2.6%	0.0%	16.4%
	全国	71.5%	0.0%	1.3%	0.0%	27.1%
肢体不自由	山梨県	84.4%	0.0%	1.9%	0.0%	13.6%
	全国	69.9%	0.9%	1.8%	0.0%	27.4%
病弱	山梨県	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	全国	71.4%	0.1%	2.1%	0.0%	26.4%

※1 教育職員免許法第4条2項に規定する原則的な「教諭」免許状とは別に「自立教科等を担任する教諭の免許状」が定められている。山梨県では、盲学校に理療科・保健理療科が設置されており、理療（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう等）を担当する教員が、この免許状を保有している。

※2 教育職員免許法附則16の規定によって、「当分の間」は特別支援学校教諭の免許状が無くても特別支援学校の教員となることが出来ることとなっている。

2 特別支援学級等担当者の状況

～ 特別支援学級等担当者ハンドブックアンケート調査（平成20年8月）から ～

(1) 障害種別担任数

種別	小学校	中学校	合計	割合%
知的	143	71	214	55.6%
肢体	20	12	32	8.3%
病弱	8	4	12	3.1%
弱視	7	1	8	2.1%
難聴	8	3	11	2.9%
情緒	49	18	67	17.4%
言通	29	0	29	7.5%
情通	11	1	12	3.1%
合計	275	110	385	100.0%

* 言通 … 言語障害通級指導教室
* 情通 … 情緒障害通級指導教室

(2) 特別支援学級等通算経験年数

年数	小学校	中学校	合計	割合%
1年	75	37	112	29.1%
2年	52	27	79	20.5%
3年	25	16	41	10.6%
4年	34	7	41	10.6%
5年	16	5	21	5.5%
6年	14	4	18	4.7%
7年	9	5	14	3.6%
8年	9	2	11	2.9%
9年	7	3	10	2.6%
10年	3	1	4	1.0%
11～15年	21	1	22	5.7%
16～20年	7	2	9	2.3%
21年以上	3	0	3	0.9%
合計	275	110	385	100%

* 1年未満は、「1年」と見なす。

(3) 特別支援学校での勤務経験

項目	小学校	中学校	合計	割合%
ある	32	19	51	13.2%
ない	243	91	334	86.8%
合計	275	110	385	100.0%

(4) 特別支援学校教諭免許の保有

項目	小学校	中学校	合計	割合%
ある	66	18	84	21.8%
ない	209	92	301	78.2%
合計	275	110	385	100.0%

平成22年度特別支援教育総合推進事業について

新しい学校づくり推進室

1 趣旨

文部科学省は、平成20年度から全国47都道府県に対して「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」を委嘱し実施してきたが、平成22年度から、特別支援教育関係の諸事業を「特別支援教育総合推進事業」として整理・統合した。山梨県教育委員会（以下「教育委員会」という。）は、障害のある幼児児童生徒に対する特別支援教育を総合的に推進するために、支援体制の整備や実践研究の実施、成果の普及を総合的に行うことを目的として、平成22年4月、文部科学省と事業の委託契約を締結した。

また、平成20・21年度に引き続き、甲府市を「特別支援教育グランドモデル地域」（以下「グランドモデル地域」という。）に指定し、障害のある子どもの乳幼児期から成人期に至るまで一貫した支援方針について重点的に推進する。

2 総合推進事業の概要

各学校等における体制整備及び地域の支援体制整備等を総合的に推進するため、次の事業を行う。

- (1) **総合推進事業運営会議の設置**
- (2) **地区及び専門部特別支援連携協議会の設置**
県下5地区（中部・北部・南部・富士北麓・東部）及びグランドモデル地域に地区特別支援連携協議会を設置し、障害種別ごとに専門部（視覚障害、聴覚障害、病弱）特別支援連携協議会を設置する。
- (3) **グランドモデル地域における発達相談員派遣事業**
障害のある幼児児童生徒及びその保護者や教員に対する相談・支援（療育）を行うとともに、適切な支援の在り方について実践的に研究するため、グランドモデル地域は臨床心理士等の発達相談員を小・中学校等に派遣する。
- (4) **特別支援教育学生支援員の派遣**
障害による学習上又は生活上の支援を必要としている幼児児童生徒に対する支援の充実を図るため、県内における教員養成課程を有する大学及び社会福祉士、臨床心理士等の養成課程を有する大学と連携し、当該大学に在籍する学生を特別支援教育学生支援員として小・中学校等に派遣する。
- (5) **幼稚園、小・中学校、高等学校における支援体制の整備**
 - ア 特別支援教育に関する校内委員会の設置
 - イ 特別支援教育コーディネーター（以下「コーディネーター」という。）の指名
 - ウ 特別支援教育専門家チームの設置
 - ・障害のある幼児児童生徒について、学校・園等から判断依頼があった場合に判断を行い、適切な教育的支援を提示するため、山梨県特別支援教育専門家チーム及び甲府市特別支援教育専門家チーム（以下「専門家チーム」という。）を設置する。
 - ・障害のある幼児児童生徒に関する相談に対応するため、専門家チームの下に特別支援教育巡回相談員（以下「巡回相談員」という。）を置き、学校・園等からの派遣依頼に応じて訪問し、指導内容や方法等について指導・助言を行い、必要に応じて、幼児児童生徒や保護者に直接指導・助言を行う。
 - ・巡回相談員の資質向上を図るため、特別支援教育巡回相談員連絡会を開催する。
- (6) **高等学校のモデル校の指定**
 - ア 校内支援体制の整備
 - イ 専門家の活用
 - ウ 関係機関との連携
- (7) **特別支援学校における支援体制の整備**
 - ア 地区及び専門部特別支援連携協議会事務局連絡会の実施
 - イ コーディネーターの配置
- (8) **コーディネーターの養成**
 - ア 総合教育センターは、コーディネーターの資質の向上を図るため、障害のある幼児児童生徒への支援の内容や方法、連携協力の在り方等について研修を行う。
 - イ 高等学校におけるコーディネーターの専門性及び資質の向上を図り、各学校間における情報交換を行うため、高等学校特別支援教育コーディネーター協議会を開催する。
- (9) **研修**
特別支援教育への理解と支援の在り方について専門性を高めるため、管理職、特別支援学級及び通級指導教室の担当者、通常学級の担任、特別支援教育支援員、特別支援教育学生支援員等を対象に研修会を開催する。

3 実施期間

総合推進事業の実施期間は、平成22年度の1年間とする。

4 予算額

- ・ 4,200千円
- ・ グランドモデル地域の事業については、甲府市に再委託する。

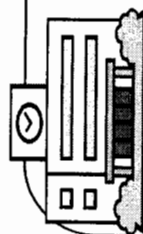
特別支援教育総合推進事業

※「発達障害等支援・特別支援教育総合推進事業」「高等学校における発達障害支援モデル事業」「特別支援教育研究協力校」自閉症に対応した教育課程の在り方に関する調査研究事業」
 「新学習指導要領」に対応した交流及び共同学習実践支援事業（新規）」を整理・統合
 平成22年度概算査定額：304,979千円（前年度予算額：664,371千円）

～特別支援教育の理念～

障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するに立ち、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う。

特別支援教育推進のための実践 研究の実施・成果普及



特別支援学校等

特別支援学校と小・中学校との間における交流及び共同学習の推進



居住地の小・中学校との交流及び共同学習の先進実践事例の集積・提供



教育課程の編成等についての 実践研究の推進

障害の重度・重複化や多様化への対応、職業教育の改善、自閉症児への対応等

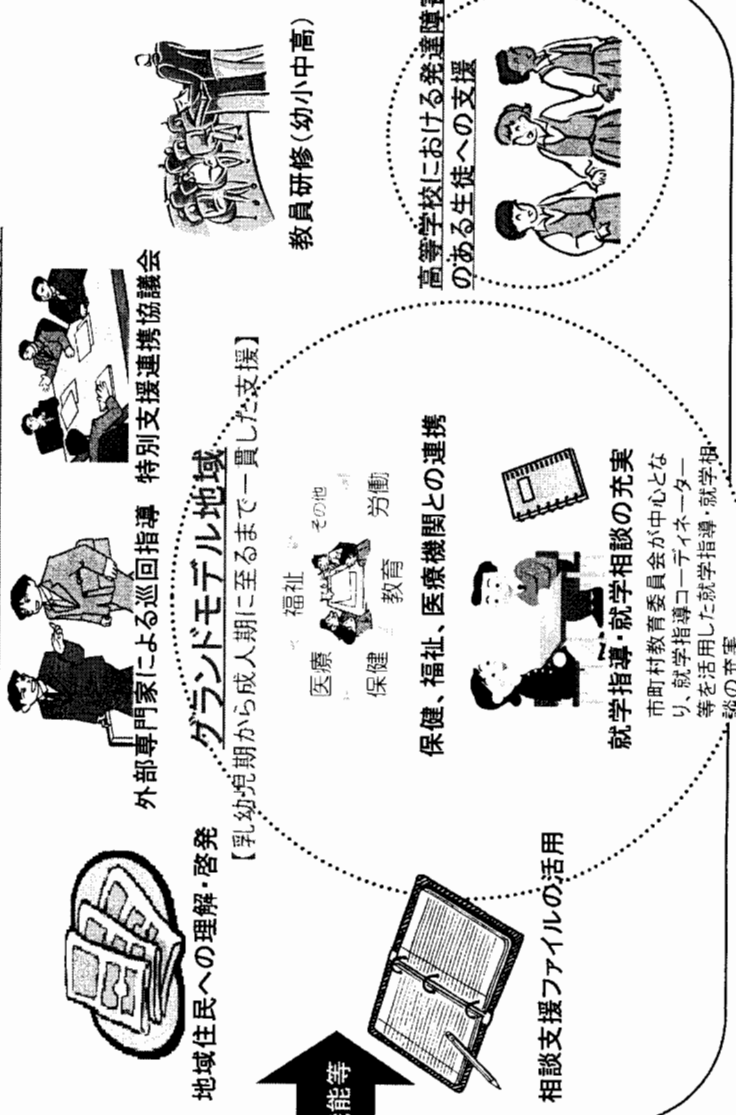
研究・成果の普及

特別支援学校等において、新学習指導要領を踏まえ、自立と社会参加に向けた指導の充実・改善を図るための実践研究・成果普及等を総合的に実施する。

特別支援教育推進のための体制整備

発達障害を含む全ての障害のある幼児児童生徒の支援のため、就学指導コーディネーターによる就学指導・就学相談の充実、外部専門家による巡回指導、各種教員研修、学生支援員の活用などを実施することにより、特別支援教育を総合的に推進する。また、高等学校における発達障害のある生徒への支援体制を強化する。

特別支援教育推進地域（47都道府県）



平成22年度 山梨県における特別支援教育総合推進事業構造図

